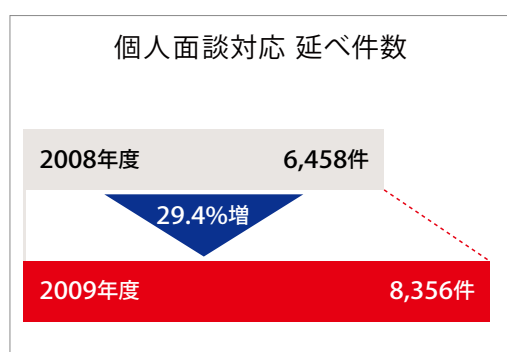


キャリアセンターの取り組み

■ 2009年度には緊急の就職支援対策を実施

2008年の金融危機に連鎖した不況の波を受け、2010年3月卒業生の就職は、非常に厳しい状況となりました。キャリアセンターの実施する学生との個別面談の延べ件数が、下図の通り大幅に増加したこと、OB・OG訪問のための名簿閲覧件数が例年以上であったことが、学生の危機感の高さと就職活動の厳しさを如実に表しています。



本学では、こうした状況を受けて、これまでの就職支援に加えて、緊急対策として昨年度の4年生を対象として次のような施策を実施しました。

● 2009年6月

4年生対象の就職ガイダンスを初めて実施
内定のピークを過ぎた6月に至ってなお未内定の学生を対象に開催しました。

● 2009年8月

4大学合同企業説明会を初めて実施
明治・法政・日本女子大学と共同で合同企業説明会を開催し、8月になっても採用活動を行っている企業（約120社）と学生の接触機会を創出。選考を経て内定に結びついた学生も多数いました。

■ 2009年度の就職決定率は前年度とほぼ同率の98.2%

結果として、2010年3月卒業生の就職決定率は98.2%（昨年98.3%）と昨年とほぼ同率となりました。これは、本学の伝統と実績に対する企業からの評価が高いことと、本学のキャリア支援と就職支援の在り方が有効であったことに加えて、今回の緊急支援対策が一定程度効果を上げたことを示していると思われます。

■ 2010年度の採用見通しと支援策

大卒求人倍率が1.62（リクルートワークス研究所調査）であることから就職氷河期の再来と言われた2009年度でしたが、計画求人数を満たさずに採用を終えた企業も多く、学生の実感では数字以上に厳しかったようです。2010年度はさらに厳しい採用状況が予測され、大卒求人倍率1.28（同研究所調査 4月23日現在の見通し）との情報が流れています。本学では、こうした状況に対応すべく、昨年度初めて実施した4年生対象就職ガイダンスを拡大し、5・6・7月に3回開催するとともに、新たに本学独自の春季学内企業セミナーを6月段階で未内定の4年生を対象に開催します。

■ 本学の就職支援を支える 職員の方々のご協力

本学の学生へのキャリア支援と就職支援には、職員の方々に支えられてはじめて成立するプログラムが多数あります。OB訪問や各種ガイダンスの講師としてのご協力は勿論ですが、公務員対策やマスコミ対策の各種プログラムには職員の方々のご協力が不可欠です。また、南甲倶楽部の全面的なご支援によるインターンシップ「南甲プログラム」や低学年の学生に働くことの意味を考える機会を与えるキャリア教育科目「働くこと入門」など、職員の方々には本学のキャリアサポートの根幹を支えていただいています。